

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	多機能型事業所 ほのぼのPlus+		
○保護者評価実施期間	令和8年1月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25人	(回答者数)	22人
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供に合わせた丁寧な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに季節に合わせた製作を取り入れたり「できた」を沢山経験できるようなクッキングを毎月取り入れた活動を行うようにしている ・子供たちの日々の状態を観察し、職員同士で支援内容を確認しながら、成長に応じた柔軟な、丁寧な支援を心掛けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが楽しみながら色々な経験を重ねることが出来るよう興味関心を取り入れる ・子供たちそれぞれにあった支援をするため、子供たちの情報と課題や活動の意図を職員間でしっかり共有する
2	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・療育日の連絡帳には、その日の様子がイメージしやすいよう写真を一緒に掲載して共有している ・いつでも連絡が可能なので相談や連絡に対し、迅速な対応ができるよう心掛けている 	<ul style="list-style-type: none"> ・お家や園での様子などをしっかり引き出せるよう話しやすい環境を作り、信頼関係を構築し、連携を計れるようにする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間での交流の機会や地域との交流の機会が作れていない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流や保護者会などの実施が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、テーマを決めたり子供たちと一緒に参加するなど、保護者同士の交流の場や地域との交流を検討していく
2	子供の安全確保についての計画やマニュアルについての周知が不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間では周知できており、発生を想定した訓練等も行っているが、保護者への周知・説明に配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やHP等を活用し、定期的に訓練の様子を発信するなどして、保護者の皆さんが周知できるようにする
3			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 ほのぼのplus+

対象人数(保護者)25人 回答者数 22人 回収 88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				とても清潔な部屋で過ごせていると思う	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1				連絡帳やお話を伺いながら、保護者の方と共通理解を進めていけるよう努めてまいります
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20	1		1	お話をしっかり聞いてくださり、お家での対応も教えてくださるので助かります	これからも、お子さんと保護者の方のニーズをお聞きしながら、発達に合わせた支援計画を作成してまいります
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1				
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				行なわれていると思います	これからもお子さんの、できた!楽しい!につながる支援に努めてまいります
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3		1	色んな工夫がされていて感心します	少しずつの変化を入れながら固定されないよう工夫してまいります
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	4	4	2		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	6	1	1	参加したことがないため	引き続き検討し実施してまいります
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	2			・直接話せる時間は少なめ。朝は時間がないし、帰りは送迎に出られるので。 ・写真付きの連絡帳で、毎回どんなことをしたのかも詳しく書いて頂き、読むのが楽しみです	保護者の方が声を掛けやすいような環境を検討していき、保護者の方との共通理解を進めてまいります
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2		1	・まだ利用して期間が短いため ・連絡帳にコメントを書いているとお返事を必ず下さったり、様子を聞いてくださるので安心です	保護者の方が声を掛けやすいような環境を検討し、連絡帳をもっと活用できるよう工夫してまいります
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	6	4	5	参加したことはありません	保護者会などを行うよう検討し、実施を進めてまいります
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3			・お迎え時にもう少しお話が出来たらと思うことがあります	お話が出来る環境を作るようにしていきます。しっかりお話をして共通理解をしていきたいと考えています
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2		2	・毎回写真付きで説明をしてくださりわかりやすいです	活動内容や色々な情報をこれからも発信させていただきます
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		2		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		7		定期的に避難訓練をしていることや訓練の様子も連絡帳を通し、お知らせしてまいります
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	20			2		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いませんか。	19			3		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	21			1		保護者の方に安心して預けていただけるよう、又お子さんが安心して過ごすことが出来る様にサービスを提供していきます
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	3			朝は行き渋りがあるので。	お子さん一人ひとりが楽しみに通所できる様「楽しい」「できた」を引き出せるような活動内容を考えサービスを提供してまいります
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	22				できることが増えている。 子供にあった支援をしてくれている	お子さんの成長と一緒に感じながら、今後も情報共有していき、ご家族のニーズに合った必要な支援をしていけるように努めていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 ほのぼのplus+		公表日		R8年3月5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		共有スペース、個別スペースと活動内容によってスペースを分けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	利用児の状態に合わせて、配置の工夫や優先順位を考えて対応している	より質の高い支援を目指す中で、職員体制の強化を進めていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日掃除と消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・子供が落ち着きたい、ひとりになりたい時の場所が確保できている ・状況に応じてパーティションを移動して使うことが出来る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			今年度より、保護者向け評価等を実施し、保護者の方の意見等を把握して対応していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		療育後に、振り返りを行い、共有している	新規事業のため会議時間の確保が課題となっているが、今後も効率的な共有方法を工夫し、業務改善につなげていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2			施設外研修なども検討していきたいと思う
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		連絡帳で常に確認できるようにしている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画書は、児童発達支援管理責任者が作成した後、職員間で検討し、共通理解を図っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿ってアセスメントを行い、具体的に支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で話し合いを行い、確認しあいながらプログラムを立案している		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子どもの発達や興味に合わせ、又、興味が広がるよう流動的に取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの発達状況に応じ、個別活動と集団活動と組み合わせ、支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		今後も効率的な共有連携方法の構築と支援に努める
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	他業務と並行しながら、振り返りを行っている。個別活動や集団活動での共有事項はパソコン、紙媒体で記録して共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	園の先生が療育の場末を見に来られたり、必要に応じて園の様子を見に行かせていただいたりお話をさせていただき、支援の方法や方向性の統一を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	移行支援会議を設けて、情報の共有と相互理解に努めています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		これから地域の中での交流も検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳や送迎時などを活用し、お家や園での様子や日常での様子を聞き取りながら、情報共有を行い、共通理解を計っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		これから保護者会等の機会を作っていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談などで意向の確認を行っている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		定期的な面談を実施し、保護者の方と一緒に確認、同意をいただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・定期的面談を実施し、困っていることや就学に関する相談等に助言・支援を行っている ・連絡帳で相談や質問があった時には、すぐに回答し、必要に応じ、直接お話をしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		これから保護者会等の機会を作っていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		利用日の連絡帳には言葉を入れて発信し、保護者からのコメントも必要に応じてメールや対面でのお返事を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		これから地域交流や保護者会等の機会を作っていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に状況を確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットは全職員に周知し、再発防止に向けた対応を検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1			